



やまて図書



シノドス(世界代表司教会議)の歩みが始まります

2021年10月10日、バチカン聖ペトロ大聖堂で「世界代表司教会議(シノドス)第16回通常総会」の開幕ミサがあり、横浜教区でも梅村昌弘司教司式で10月23日の主日にミサがささげられました。今回のテーマは「ともに歩む [=シノドス的] 教会のため — 交わり、参加、そして宣教」です。聖職者と修道者だけではなく、信徒も参加することを求められています。(教会報『やまて』621号をご覧ください)



シノドスの後には『使徒的勧告』という教皇文書が交付されます。これまでの教皇文書が図書室にありますので読んでみませんか。

(画像と参考: カトリック中央協議会 HP)

教会歴
12月

12月 (抜粋)

12月2日(木・週・緑) 日本宣教の保護者聖フランシスコ・ザビエル
12月5日(日・主・白) 待降節第1主日
12月8日(水・祭・白) 無原罪の聖マリア
12月12日(日・主・紫) 待降節第2主日

12月13日(月・記・赤) 聖ルチアおとめ殉教者
12月19日(日・主・紫) 待降節第3主日
12月25日(土・主・白) 主の降誕
12月26日(日・祝・白) 聖家族
12月28日(火・祝・赤) 幼児殉教者



シノドスのための祈り

聖霊よ、わたしたちはあなたの前に立ち、あなたのみ名によって集います。
わたしたちのもとに来て、とどまり、一人ひとりの心にお住まいください。
わたしたちに進むべき道を教え、どのように歩めばよいか示してください。
弱く、罪深いわたしたちが、一致を乱さないよう支えてください。
無知によって誤った道に引き込まれず、偏見に惑わされないよう導いてください。
あなたのうちに一致を見いだすことができますように。
わたしたちが永遠のいのちへの旅を続け、真理と正義の道を迷わずに歩むことができますように。
このすべてを、いづどこにおいても働いておられるあなたに願います。
御父と御子の交わりの中で、世々とこしえに。
アーメン。

(参考: カトリック中央協議会 HP)

シノドス後に公布される使徒的勧告・・・て、なあに？

使徒的勧告とは教皇が公的に出される文書の一つ。「回勅」「使徒的勧告」「使徒的書簡」など、これらの文書には格付けがある。

回勅…………… 教皇の権威をもって、全世界の司教、信徒に発信する文書で、教皇の出す公文書の中でいちばん重要なもの。教皇が信者の信仰生活を指導することなどが目的になる。

使徒的勧告… 第2バチカン公会議後、4年に1度開催されるシノドス(世界代表司教会議)で、世界中の司教の代表が討議した結論を教皇に提出し、教皇がそれに加筆して公布するもの。

使徒的書簡… 教皇による公的な書簡(手紙、書状)形式のもので「使徒的勧告」の次に位置づけられている。

読んでみてね

当図書室には、以下の教皇文書があります。

回勅

教皇ベネディクト十六世 『希望による救い』
教皇ヨハネ・パウロ二世 『教会にいのちを与える聖体』、『キリスト者の一致』、『いのちの福音』、『真理の輝き』

使徒的勧告

教皇ヨハネ・パウロ二世 『信徒の召命と使命』、『和解とゆるし』、『奉獻生活』

使徒的書簡

教皇フランシスコ 『父の心で』
教皇ヨハネ・パウロ二世 『主よ、一緒にお泊りください』

(参考: カトリック中央協議会 HP、女子パウロ会 HP)